

令和 2 年度 保護者中間評価アンケートのご意見について学校からのお知らせ

苫小牧市立清水小学校

- 1, コロナ禍で始まった令和 2 年度も、おかげさまで前期の教育活動が終了しました。例年通りの運動会開催や文化的活動の発表はまだ困難ですが、学年ごとのミニ運動会も好評のうちに全学年が終了するなど、工夫して学習活動を行っています。授業時数も年度末までの時間数を学年ごとに 1 時間単位で計算し、学習計画を作成しています。2 時間分の学習内容を無理に 1 時間で終わらせるような指導はしておりません。
- 2、授業のきまりは「清水小スタンダード」をもとに全学級が同一歩調で取り組んでいます。学級担任が変わるたびに指導の仕方が全く変わってしまい子どもが混乱することのないように、少なくとも校内で、さらには市内どの学校でも同じ指導が行われるよう今後も努力します。10月29日には市内外の先生方をお招きして道徳科授業の公開研究会を行い、どの教室でも共通した道徳科の授業が行われている様子を見ていただきました。
- 3, 指導内容や支援が必要な児童の状況に応じ、学級担任の他にも、教務主任、算数の少人数指導担当教師、外国語指導講師、学校図書館司書、通級指導専任教諭、支援員、介添員、ALT、スクールサポートによる臨時指導員等による複数指導や、低・中・高・特別支援学級のブロック単位での複数指導を行っています。問題行動があれば関係の先生方で連携しての指導を行います。今後も市教委と連携し、指導体制の充実を図ります。
- 4, 読書活動については、活動の充実を理解いただく反面、さらに取組を進めてほしい要望も少なからずございました。今年度の全国学力・学習状況調査問題で検証した結果からも国語はもちろん、算数の学力向上のためにも読書活動の推進が課題と考えております。11月は「ご家庭での読書習慣」に取り組みますが、「家に本がたくさんある子は、よく本を読む」そうです。ぜひこの機会に親子での読書をお薦めいたします。
- 5, 校外生活については、今年度も「公園の使い方」「自転車の乗り方」「スマホ・ゲームの時間が守れない」ことの3つが課題となっています。公園でのボール遊びや乱暴な自転車の乗り方は、他人にけがをさせたり自分も大けがを負う危険につながります。また、ネットモラルの低下は学力低下や悪い大人との接触による問題行動の発生の原因となります。10月には本校児童と静止車両との接触事故が発生しました。幸い、児童にけがはありませんでしたが、交通安全についての指導を今後も継続します。

(裏面に続きます)

6, その他、後期に向けて、下記の通り改善充実を図っていきます。

- ①今後も新型コロナウイルス感染症予防対策を継続します。「マスク着用」「登校前の検温」に引き続きご協力をお願いするとともに、学校では「うがい・手洗いの励行」「暖房と換気の併用」等の対応を行っていきます。現在、保護者の校内参観は行っていませんが、卒業式等の対応については感染症の拡大状況を見ながら現在検討中です。
- ②挨拶については、引き続き「地域の方や来校のお客様にも元気にあいさつ」するよう指導していきます。たとえ挨拶が返ってこなくても、こちらからは元気に挨拶をするよう子どもたちには指導しています。言葉遣いの指導もいじめ防止や道徳科の指導と合わせて行っていきます。
- ③学校一斉メールが「さくら連絡網」になり、これまで本校独自のアンケートを3回、文書添付試験を1回行いました。平均して7割ほどの返答率で、発信した当日にその半数程度が返信されております。ご多用中、ご協力誠にありがとうございました。後期もインフルエンザの流行や悪天候により、緊急の連絡を行う場合もあります。引き続き「さくら連絡網」の活用にご理解とご協力をよろしく願いいたします。